

- ☆平和行動in沖縄
- ☆第24回参議院選挙特集
- ☆2016地域フォーラム/連合エコ大賞2016
- ☆女性のためのSTEP UPセミナー(中級編)/8月の行動予定
- ☆あけぼのビル

～恒久平和の実現に向けて 次世代につなぐ新たな一歩を～

2016平和行動in沖縄

6月23日(木)～6月24日(金)に平和4行動のスタートである「平和行動in沖縄～恒久平和の実現に向けて次世代につなぐ新たな一歩を～」が開催され、全国から約1,000名、連合埼玉からは構成組織・加盟組合、地域協議会、女性委員会などから12名が参加した。6月23日の「2016平和オキナワ集会」では、語り部として活動するカリスマスーパーバスガイドの崎原真弓氏が、演劇的要素なども取り入れながら、沖縄戦の悲惨さと平和の大切さを強く訴えた。6月24日のピース・フィールドワークでは、糸数アブチラガマ、ひめゆりの塔・資料館、対馬丸記念館などの戦跡を自らの目で確認し、多くの民間人を巻き込んだ戦争の言葉に出来ないほどの不条理を肌身をもって体感した。また、同日夕刻に実施された集会・デモ行進では、現在の米軍基地の在り方によって沖縄が負わされている様々な問題を知ることができた。

この平和行動で目の当たりにした戦争の本質、そして実感した平和の大切さを参加者全員でひろく伝えていく必要がある。

日程

1日目
(6/23)

■2016平和オキナワ集会

とき 14:30～17:00

場所 那覇市民会館大ホール

内容 第1部

語り部から学ぶ次世代への継承と沖縄の現状

講師: 崎原真弓氏

(沖縄カリスマスーパーバスガイド)

第2部 平和式典

2日目
(6/24)

■ピース・フィールドワーク(連合群馬と合同行動)

内容 糸数アブチラガマ→平和祈念公園→ひめゆりの

塔・資料館→対馬丸記念館→集會会場

■「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本見直し」を求める行動

内容 集会(県庁前県民広場)

デモ(県庁前→国際通り→牧志公園)

参加者

- 鈴木 光宏 (JAM埼玉/北川鉄工所労働組合大宮支部)
- 五月女 智 (情報労連/日本コムシス労働組合関東中支部)
- 敷下 祐介 (情報労連/ウィンテック労働組合)
- 山中 智裕 (運輸労連/関東通運労働組合)
- 小松崎敏孝 (運輸労連/セイノスーパーエクスプレス労働組合武蔵野支部)
- 八木 一郎 (さいたま市地域協議会/さいたま市職労働組合)
- 永田 和夫 (川口・戸田・蕨地域協議会/NTT労働組合川口分会)
- 桜井 紀良 (熊谷・深谷・寄居地域協議会/太平洋セメント労働組合熊谷支部)
- 田島 晴彦 (本庄・児玉郡市地域協議会/埼玉教職員組合児玉大里支部)
- 新井 健一 (秩父地域協議会/三菱マテリアル横瀬労働組合)
- 木村あずさ (連合埼玉女性委員会/日本電波工業労働組合)
- 芳賀 剛志 (連合埼玉副事務局長)

①平和行動に参加したのは何回目ですか？

②何を目的に参加しましたか？

③感想



鈴木 光宏

- ①初めて
- ②連合の全国的な活動の参加体験
- ③崎原真弓さんの講演を拝聴し、市民を巻き込んだ沖縄戦の悲惨さや当時を生き抜いた人の葛藤や心の叫びを聞き、今の平和の大切さを感じた。またアブチラガマでは、暗い洞窟の中でひめゆり学徒たちの体験を聞き、戦争がいかに悲劇を生むものか実感した。対馬丸記念館は、対馬丸沈没や那覇市周辺の空襲などで激滅した学生の数などの資料を見て、壮絶な戦争だったかを感じた。



五月女 智

- ①初めて
- ②平和と沖縄の現実問題を学ぶため
- ③語り部の崎原氏の講話で戦争の悲惨な現状、戦争による数多くの犠牲、また実際の体験談を聞き、胸がグッと締め付けられる思いだった。また糸数アブチラガマでは、当時の戦時品などが今も残されており、暗闇の壕の中で命を落としていった人々の思いを考えさせられ、平和の重要性を認識した。戦後71年経った今、戦争を経験した方が少なくなっているのも事実であり、私たちの世代が次世代へ戦争の恐ろしさを伝え、風化させてはいけないと学んだ。



ひめゆりの塔



藪下 祐介

- ①初めて
- ②平和行動を体感するため
- ③沖縄は海のきれいな観光地というイメージしかなかったが、今回の平和行動で「本当の沖縄」を知る事ができたと思う。沖縄の人達の悲しみや平和への強い思いに心打たれ、またピースフィールドワークで訪れた戦跡では沖縄の歴史を知り、衝撃を受けた。沖縄で感じた想いを地元へ持ち帰り、周りに発信していくことが、これから自分たちがやるべきことだと強く感じた。



山中 智裕

- ①2回目
- ②平和の大事さを忘れないため
- ③平和行動は2回目になるが、参加するたびにピースフィールドワークで訪れる糸数アブチラガマでの体験にショックを受け、平和な時代に生きている我々は、いかに忍耐がないかを思い知らされるが、前は半年位でその思いを忘れてしまった。この様な体験してきたのだから、前回の反省を活かして、忘れないように、日々の人生を生きていければと思う。



小松崎 敏孝

- ①2回目
- ②平和の大切さを確かめるため
- ③ピースフィールドワークで訪れたアブチラガマの防空壕の惨劇が印象的だった。アブチラガマでは、24時間、生命の危機を感じる極限の恐怖であり、残酷さ、苦しみ、凄まじさを感じられる、当時の戦争の最前線での事実を目にする事ができた。これまでの71年間の日本の平和は、憲法第9条の「永久にこれを放棄する」と言う、恒久的な平和のための強い想いや、過去の悲劇を伝え続けて来た上での現在であり、今後も自分の家族や身近な人に、私もしっかりと平和の尊さを伝え続けていかなくてはならないと思った。



平和の礎



八木 一郎

- ①初めて
- ②沖縄戦で起こった惨状を知るとともに、現在の状況を実際に肌で感じるため
- ③昨年は戦後70年という節目の年であり、テレビや新聞等の情報で戦争の悲惨さを改めて知る機会が多かったように思う。71年目となる今年、実際に沖縄を訪れ、その場所で知る戦争の惨状は“情報”で知ることはできないものであり、残酷さ、恐ろしさを何度も何度も思い知らされることとなった。生きたいのに生きることができなかった戦争犠牲者の方々の絶望の時間を感じ取ることで、今後、悲惨な戦争は絶対に起こしてはいけないということを深く胸に刻むことができた。平和は当たり前ではない！平和で有り続けるための努力を自分自身もしなければいけないと決意する機会となった。



永田 和夫

- ①初めて
- ②平和を求めるときの戦争学習のため
- ③沖縄市民会館でのクリスマススーパーガイドである「崎原真弓」氏による沖縄戦をテーマにした講演劇は沖縄戦に巻き込まれた「お婆」の独白がメインの鬼気せまる迫真の演技であった。

翌日フィールドワークで訪れた中のひとつ「糸数アブチラガマ」では現在採光の穴を塞いでいるとはいえ何も見えない漆黒の闇である地下にも拘わらず、沖縄で平均して1㎡あたり100発もの爆弾が着弾した地上よりもガマの方が安全な場所であったということに驚かされた。他にもひめゆりの塔・資料館、対馬丸記念館等を訪れたが、基地・米軍関係者による犯罪の問題等を考えると沖縄の人の戦後は確かに終わっていないということを強く感じさせられた。



桜井 紀良

- ①初めて
- ②平和行動をつうじ、沖縄の戦争について詳しく知りたかった
- ③沖縄は色々な文化、伝統がある一方、戦後71年を迎え、高齢者が多くなり、語り継ぐ人が少なくなってきた。平和行動では色々な体験談話や悲惨な写真、映像、遺品、現場を肌で感じてきたが、この体験を風化させる事なく、二度と戦争はあってはならない事だと改めて感じた。まずは自分ができること、近いところ(家族、地域、会社、組合)から平和行動をやっていくと思う。

二度と戦争はあってはならない事だと改めて感じた。まずは自分ができること、近いところ(家族、地域、会社、組合)から平和行動をやっていくと思う。



折り鶴と花束の献納



田島 晴彦

- ①3回目
- ②平和な社会は幾多の犠牲の上に成立し、その歴史を掘り起こすためと埼玉の仲間と交流するため
- ③沖縄本土決戦の戦火が厳しくなる中、闇黒の中で生命の保障がない野戦陸軍病院のアブチラガマで、十分な薬もなく生死をさまよう負傷兵や手足を切断された入院兵士の看病や死体や尿尿処理をする看護婦のことを聞くうちに、私の母の従軍看護婦時代のことが頭をよぎった。母は、戦時中の兵士の看護の話をあまりしなかったで、私もあえて聞くこともしなかった。しかし糸数アブチラガマでの看病を私の母も九州のどこかでしていたかもしれないと思うと、母が私に戦時中の話をしなかったことは容易に推測できる。

沖縄戦は正に生き地獄、人間が人間を殺教する悲惨さ恐ろしさを沖縄に来て改めて痛感した。



デモ行進



参加者のみなさん



新井 健一

- ①初めて
- ②戦争の悲惨さ、平和の尊さを認識するため
- ③戦跡を自分の目で見た事で沖縄に対するイメージが一変した。71年前に起こった現実を耳にし、いかに悲惨で残酷だったのか、人が人として生きられず、多くの人命が失われた事を改めて学んだ。この経験をつうじて、戦争の悲惨さを痛感して、決して風化する事なく次世代へ伝えていく事が大切だと強く感じた。

戦争の悲惨さを痛感して、決して風化する事なく次世代へ伝えていく事が大切だと強く感じた。



木村 あずさ

- ①初めて
- ②戦争中に沖縄で起きた事を学ぶと共に多くの戦没者の慰霊のため
- ③今回の平和行動で見聞きしたことが、今までの戦争に関して学習してきた中で一番心に重く押し掛かるものとなった。71年前の沖縄戦では沢山の尊い命が奪われたが、そのほとんどが爆撃や銃撃戦の戦闘に巻き込まれて亡くなったのだと思っていた。しかし実態は「米軍に捕まったら酷い拷問の上、殺されるぞ」という日本軍のデマに踊らされ、家族同士での集団自決を選んだり、味方であるはずの日本軍により殺害されたりと、余りにも惨い亡くなり方をした人々が数多くいた事を知り、居た堪れない気持ちでいっぱいになった。沖縄の地で起きた事、戦争の怖さ、平和の大切さを学び、後世に伝えていく為に、平和行動を継続してもらいたい。

沖縄の地で起きた事、戦争の怖さ、平和の大切さを学び、後世に伝えていく為に、平和行動を継続してもらいたい。

第24回参議院選挙

大野もとひろ氏再当选果たす!

改憲勢力が衆参両院で改憲発議に必要な三分の二議席を超えた歴史的な今選挙は、民進党に厳しいものとなった。民進党は、比例代表で2013年参院選(当時は民主党)の7議席を上回る11議席を獲得。全体でも2013年の2倍近い32議席を獲得したが、改選43議席を11議席減らした。非改選と合わせて49議席となり第二党は守ったが、前回の民主党59議席からさらに議席を減らしてしまった。与党は全体で70議席確保し、非改選と合わせて146議席となり大きく過半数を超えた。おおさか維新は改選議席2を大きく上回る7議席獲得、社民と生活の党はそれぞれ1議席獲得にとどまった。また共産は改選議席3に対し倍増の6議席獲得した。



小林会長と大野参議院議員と握手



応援演説をする小林会長(川口駅東口)



出陣式(6月22日・大宮駅東口)



総決起集会(6月29日・市民会館うらわ)



子どもたちと握手



炎天下の中での演説

埼玉選挙区では「自公与党で2議席」となる中、民進党・大野もとひろ氏が2位当選を果たした。旧民主党は候補者を一人に絞った3年前の参院選で議席確保に失敗しており、民進党として県内初の国政選挙となった今回は「どうしても負けられない戦い」だった。今回の得票は、選挙区個人67.6万票・得票率21.98%であり、前回参院選より28.7万票増となった。また埼玉の比例区の民進党票も62.5万票で前回より27.5万票増となった。

全国比例区では、民進党比例枠が11議席獲得する中、連合組織内候補は12名中8名が当選した。民進党が結党してわずか3か月で認知度に不安があったが、全国での民進党投票総数は前回の713万票から1175万票に大きく伸ばしている。また、組織内候補者の総得票は前回参院選より51.3万票多い211万票で、埼玉県内でも2.5万票増の8万票獲得した。前回の組織内候補者9名に対し今回は12名に増えているが、人数増以上に比例票は増加しており、擁立組織はもとよりそれ以外の構成組織も含めてご奮闘いただいた結果と言える。

今回の結果をふまえ、今後、連合埼玉としての第24回参議院選挙総括をおこなう。

構成組織、地域協議会、そして組合員・ご家族の皆さんによるご協力に対し心から感謝申し上げます。

■埼玉県選挙区 開票結果

()内は前回2013年結果

	男	女	計
有権者数	3,030,831	3,038,187	6,069,018
投票者数	1,591,845	1,560,593	3,152,434
投票率(%)	52.52(52.16)	51.37(50.26)	51.94(51.21)

候補者氏名	年齢	政党	新旧	得票数	得票率	当落
関口 まさかず	63	自由民主党	現	898,827	29.19%	当
大野 もとひろ	52	民進党	現	676,828	21.98%	当
西田 まこと	53	公明党	現	642,597	20.87%	当
伊藤 岳	56	日本共産党	新	486,778	15.81%	落
沢田 良	36	おおさか維新の会	新	228,472	7.42%	落
佐々木 知子	47	日本のこころを	新	118,030	3.83%	落
小島 一郎	45	幸福実現党	新	27,283	0.89%	落

■全国比例区民進党 開票結果

	得票総数	得票率	政党等の得票数	名簿登載者の得票数
埼玉県	625,605.254	20.40%	507,175	118,430.254
全 国	11,751,015.174	20.98%	8,750,006	3,001,009.174

■比例区組織内候補者(名簿登載者の得票数、得票率)

候補者氏名	年齢	新旧	埼玉県		全 国		当落
			得票数	得票率	得票数	得票率	
小林 正夫	67	現	9,221.899	7.79%	270,285.341	9.01%	当
はまぐち 誠	49	新	11,988.353	10.12%	266,623.257	8.88%	当
矢田 わか子	49	新	7,005	5.91%	215,823	7.19%	当
かわい たかのり	51	元	9,327	7.88%	196,023	6.53%	当
なんば 奨二	55	現	8,586	7.25%	191,823	6.39%	当
えさき たかし	58	現	2,898.552	2.45%	184,187.226	6.14%	当
なたにや 正義	57	現	741.007	0.63%	176,683.167	5.89%	当
石橋 みちひろ	49	現	7,259	6.13%	171,486	5.71%	当
たしろ かおる	55	現	10,672	9.01%	113,571	3.78%	落
藤川 しんいち	51	新	5,017.088	4.24%	113,045.051	3.77%	落
とどろき 利治	55	元	1,714	1.45%	108,522	3.62%	落
森屋 たかし	47	新	6,137.757	5.18%	102,208.919	3.41%	落

2016地域フォーラム

「働きがいのある職場から地域の活性化を！」

7月20日(水)、連合埼玉では初となる地域フォーラムを、構成組織・加盟組合役員、地域協議会および埼玉県経営者協会会員企業役員など90名の参加を得て、開催した。連合埼玉は、職場における“働きがい”の追及が企業を活性化させ、企業の活性化が地域の活性化を生むとの観点で、労働組合のみならず経営団体、行政機関なども含めた関係諸団体との連携をはかり今後の活動につなげることを目的とし、フォーラムを埼玉県経営者協会と共催した。(後援:埼玉県生産性本部)



連合埼玉
小林直哉会長

埼玉県経営者協会
上條正仁会長

立教大学
萩原なつ子教授

フォーラムでは冒頭、連合埼玉小林会長と埼玉県経営者協会上條会長より主催者代表のご挨拶を頂いた。

その後の基調講演では、立教大学社会学部/立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科・教授の萩原なつ子氏より『ワークライフバランスで、私も地域も元気UP!』と題し、ワークライフバランスは個人の生活の豊かさと同時に仕事の生産性向上を生み出すものであること、また、仕事や家庭とは違う場で居場所を確保することが地域の活性化や退職後の生活の充実につながることを分かりやすく解説して頂いた。

事例報告では、株式会社わらわら古橋哲朗ゼネラルマネージャー、シーケーエンジニアリング労働組合佐取陽介執行委員長、Great Place to Work Institute Japan今野敦子シニアコンサルタントより各団体の取り組みの紹介を受けた。



株式会社わらわら
古橋哲朗マネージャー

シーケーエンジニアリング
労働組合

Great Place to Work
Institute Japan
今野敦子シニアコンサルタント

最後に萩原教授にコーディネーターとして、また、連合埼玉平尾副会長、埼玉県経営者協会根岸専務理事、埼玉県産業労働部江森雇用労働局長、田畑埼玉労働局長にパネラーとして参加いただき、パネルディスカッションをおこなった。



左から連合埼玉平尾副会長/埼玉県経営者協会根岸専務理事/
埼玉県産業労働部江森雇用労働局長/田畑埼玉労働局長

ワークライフバランスの実現、活性化施策の実施、地域社会の対応などは連合埼玉(労働団体)の活動のみで実現できるものではない。今後も関係する団体との連携を密にした取り組みを継続的に実施していきたい。

“エコ”なアイデア大募集!! 連合エコ大賞2016募集開始

連合は「連合エコ大賞」を継続し、みなさまの取り組みに対する表彰を通じて、“環境にやさしいライフスタイルへの見直し”をより一層進めていきます。どうぞふるってご応募ください!

【募集内容】

2016年(1~12月)に取り組んだ環境保全および節電等に関する活動

【応募資格】

- ①組織の部
構成組織・地方連合会・加盟労組・関連団体
- ②個人の部
連合加盟組合員、関連団体関係者およびその家族

【応募締切】

2017年1月31日

【表彰】

- 大賞 副賞5万円相当(1件)
- 部門最優秀賞 副賞3万円相当(2件)
- 優秀賞 副賞1万円相当(5件)

【応募方法】

ウェブ上にある、所定フォーマットへの入力による応募を原則とします。詳しくはWebで!

URL: <http://www.rengo.org/ecoaward.html>

【お問い合わせ先】

日本労働組合総連合会(連合) 社会政策局
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11
電話(03)-5295-0522 FAX(03)-5295-0546

女性のためのSTEP UPセミナー(中級編)開催のお知らせ

- 日 時** 2016年9月2日(金)10:00~17:00・3日(土)10:00~11:45
- 場 所** 9/2 あけぼのビル3F 9/3 あけぼのビル501
- 対 象 者** 各構成組織・加盟組合の初級編受講者
もしくは、同等の知識を持つ女性組合員・組合役員
(ステップアップセミナー(初級編)を受講された方の継続参加についてご配慮ください)
- 内 容** 9/2 【講演①】はたらく女性をとりまく環境とその課題
講師:(前)埼玉県警察本部 地域部鉄道警察隊長 澤登真珠枝さん
【講演②】「女性活躍推進法」はどうやってつくられたのか
講師:埼玉労働局 雇用環境・均等室
【グループディスカッション】女性活躍推進法Deもっと働きやすい職場に!
【懇親会】別途(参加費:2,000円)
- 9/3 【研修】コミュニケーション能力~思考の違い、男女の違い~
講師:作家・心理学者 晴香葉子氏
- 規 模** 50名程度(三役産別:3名以上/執行委員産別・その他産別:2名以上)
- 募集期間** 2016年8月26日(金)まで

現在予定される8月の日程表です

8月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	月	
2日	火	
3日	水	①埼玉労福協第4回理事会(11:30~ときわ会館) ②第1回埼玉地方労働審議会(13:30~15:00・ラフレさいたま)
4日	木	2016平和行動in広島(~6日)
5日	金	JP労組埼玉連絡協議会「第9回定期連協総会」(10:00~・ラフレさいたま)
6日	土	ネット21「山の学校inときわ」(10:00~・ときわ町)
7日	日	
8日	月	2016平和行動in長崎(~10日)
9日	火	第9回四役・執行委員会(10:00~・13:00~・ときわ会館)
10日	水	
11日	木	夏季休暇(~17日)
12日	金	
13日	土	
14日	日	
15日	月	
16日	火	
17日	水	
18日	木	
19日	金	社会保険診療報酬支払基金埼玉支部「第802回幹事会」(16:30~・社会保険診療報酬支払基金埼玉支部)
20日	土	
21日	日	
22日	月	
23日	火	
24日	水	組合役員教育プログラムスキルアップ®(13:00~・あけぼのビル3F) さいたま市地域協議会幹事会(18:30~・ネット21大宮)
25日	木	
26日	金	
27日	土	①組合役員教育プログラムスキルアップ®(10:00~・あけぼのビル3F) ②青年委員会「ユースラリー」(~28日・ゆうパークおこせ)
28日	日	
29日	月	
30日	火	埼玉シニア連合第5回四役会・幹事会(13:00~・14:00~・連合埼玉会議室)
31日	水	組合役員教育プログラムスキルアップ®(13:00~・あけぼのビル3F)

Akebono Building
あけぼのビル

事務局長 | 佐藤 道明 |

◆改憲勢力3分の2を超える

6月22日公示・7月10日投開票でおこなわれた第24回参議院選挙は、改選議席121議席中(選挙区73議席、比例代表48議席)、自民党は改選50議席を6議席上回り、選挙区で37議席、比例代表で19議席の計56議席を獲得した(神奈川選挙区で推薦し、当選した候補を9日付で追加公認)。

公明党は改選9議席を5議席上回る14議席を獲得。おおさか維新の会は7議席で改選2議席から5議席増やした。日本のことを大切にす党は議席を獲得できなかったが、自民と公明の与党、改憲に前向きな2党の改憲4党で77議席を獲得した。これにより、非改選を含めた改憲勢力は諸派議員4人を加え165議席となり、改憲発議に必要な3分の2(162議席)を超えた。衆議院では既に与党だけで3分の2を超える勢力を占めている。

民進党は32議席で改選43議席を11議席下回ったものの、3年前の前回参院選で旧民主党が得た17議席からはほぼ倍増した。特に複数区の北海道・東京・愛知では2議席を得た。共産党は改選3議席から倍増の6議席とし、東京で議席を得たほか、比例で5議席を獲得した。

選挙区の獲得議席は自民党が37議席に対し民進党は21議席であり、民進党は全体では改選議席を割り込んだものの、自民党47議席に対し旧民主党は10議席にとどまった前回参院選と比べて差が縮まった。特に複数区の13選挙区に限ると自民党15議席、民進党14議席と互角の戦いだっただけでなく、1人区では全32選挙区で野党4党が候補者を一本化した。前回参院選で自民党は29勝2敗と大勝したが、今回は21勝11敗と差が縮まっている。

◆復調の兆しが見えた県内選挙

埼玉県選挙区では、連合推薦の民進党公認「大野もとひろ」候補が、厳しい選挙戦を最後まで戦い抜き、67万6,828票(得票率21.98%)を獲得し2位当選を果たした。前回参院選の獲得票と比べ28.7万票のばししている。ある新聞社の調査では、民進支持者の投票先は「大野もとひろ」候補に80%以上が投票しており、ほぼ支持層を固めたと言える。さらに、無党派層の投票先は「大野もとひろ」候補に25%と他党の候補者を

押さえ支持を集めた。

比例代表選挙では、自民党が99万437票(得票率32.30%)で前回に比べ0.4ポイントの微減。連立を組む公明党は49万741票(得票率16.00%)で0.5ポイントの微増。民進党は62万5,605票(得票率20.40%)を獲得し、前回参院選では35万票(11.89%)にまで落ち込んだが27.5万票増やした。旧維新の党の勢力との合流による新規票や安倍政権への批判票により支持拡大に繋がったと考えられる。共産党は42万7,398票(得票率13.94%)で2.6ポイント増と支持を広げた。

◆善戦はしたが課題の残る戦い

連合は、比例代表選挙で12人の組織内候補を擁立し、組織を挙げて闘いを進めた。民進党の比例獲得議席が11議席の中で8人が当選できたことは善戦したと言えよう。しかし、12人の候補者名での得票数は211万票で前回の160万票から51万票増したとは言え、686万人の組合員を要する連合が出した票と考えるならば喜んでははいられない。埼玉県においても12人の候補者名での得票数は8万票で前回の5.5万票から2.5万票増やしているとは言え、素直に喜ぶわけにはいかない。

投票に行った人に比例の投票先を聞くと政党名で投票した人が複数いた。衆院選の比例は政党名での投票、参院選は政党名又は候補者名と選挙制度の違いはあるが、何故、候補者名での投票を徹底しきれないのだろうか。参議院選挙後に必ず課題になることであるが、いまだに解決できない課題である。

◆引き続き信頼回復に全力を

今回の参院選で、国民は安倍政権に大きな権力を再び与えた。しかし、政策はあくまでも国会での与野党による真摯な議論の上に進められなければならない。与党の暴走はゆるさされない。アベノミクスによる格差の拡大、労働者保護規制の緩和など絶対に許すわけにはいかない。今、優先すべきは国民生活の底上げをはかる政策であり、雇用と全世代支援型の社会保障制度の確立である。

民進党は、今回の結果を真摯に受け止め、改めて信頼回復に全力で取り組んで貰いたい。また、今後の国会では野党第一党としての役割を果たし、引き続き生活者、働く者の代弁者として自民党に対峙していくことを求める。

最後に困難な状況の中で、選挙戦にご尽力いただいた構成組織・地域協議会の役員、組合員と家族、退職者を含めたすべての関係者のみなさまに心から感謝申し上げます。